

# 令和2年第9回教育委員会会議録

開催日 令和2年5月15日（金）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面会議とした。

## 教育長及び教育委員

教育長	小野浩一
委員	松田潤子
委員	高橋雅樹
委員	中枝範子
委員	梅野新

## 教育委員会事務局・その他機関の長等説明員

教育部長	河合信二
学校教育課長	荒井昭典

傍聴人 0名

## 会議録署名委員の指名

松田委員

別紙のとおり会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名委員とともに署名する。

教育長

署名委員

## 教育行政報告

教育長より教育行政について書面にて報告

- 5月の校長会議・教頭会議について
  - 5月27日に校長会議、教頭会議を開催
  - 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後の学校教育活動の方向性について。道教委からの5月18日付け「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動の実施における『学びの保障』の方向性等について」の通知通りの取組みをお願いした。
  - 具体的には、臨時休校等でこれまで指導できなかった内容を、確実に指導できるよう、家庭学習との組み合わせや指導順序の変更などにより、学校の授業における学習活動の重点化を図り、今後新たに必要となる授業時数を明らかにした上で、長期休業等における登校日を設定すること。

- ・小学校6学年、中学校3学年については、年度内にすべての児童生徒に学習指導要領に示された各教科等の内容を身に付けさせるよう、指導した。
- ・最終学年以外については、児童生徒の負担に十分配慮したうえで、今年度中に可能な限り学習指導要領に示された内容を扱うこととし、様々な工夫を講じたうえで、やむを得ず一部の内容を次年度に移す際には、次年度の年間計画に新たにその内容と必要授業時数をさらに加えることを指導した。
- ・学校再開後も感染状況に応じて、再び臨時休校や分散登校を行うことを想定し、そのための対策を明確にしておくよう依頼した。
- ・特別支援学級等における適切な対応については、具体的には「個別の指導計画の見直し」「自立活動における指導計画や指導方法の見直し」「登校を控える児童生徒への対応」などの留意事項を踏まえた対応を行うよう指導した。
- ・名寄市教育研究所の令和2年度第3次教育改善プロジェクト委員会の立ち上げについて。5月14日に令和2年度第3次名寄市教育改善プロジェクト委員会の推進テーマ、研究グループの研究内容等が決定し確認された。
- ・教職員の不祥事の再発防止に向けた取組みについて。これまでもあらゆる機会を通じて注意を喚起してきた。道教委においては毎年5、6月を「コンプライアンス確立月間」として取り組むことになっている。職場研修の集中的な実施や、各学校の状況に応じたきめ細やかな取組みを検討し、教職員の心に響く取組みを積極的に実施するよう依頼した。
- ・今後のコミュニティスクールの在り方について。現在、地域学校協働本部体制の構築に努めている。今後は地域学校協働活動推進委員、いわゆる地域コーディネーターの配置を進めていきたい。

**会務報告** 前回の教育委員会議以降本日までの会務を書面にて報告

### 協議事項

- 議案第1号 名寄市教育委員会教育長職務代理者の指名について
- 議案第2号 名寄市博物館協議会委員の委嘱について
- 議案第3号 名寄市青少年問題協議会委員の委嘱について
- 議案第4号 なよろ市立天文台運営委員の委嘱について
- 議案第5号 名寄市児童館及び名寄市児童クラブ運営委員の委嘱について
- 議案第6号 名寄市学校給食センター運営委員の委嘱について
- 議案第7号 名寄市文化財審議会委員の委嘱について

※全ての議件につき、各教育委員から文章にて承認を得る。

連絡事項等は省略

閉 会